

# 学力向上への取り組み

## ？ なぜこの事業を行なっているのですか？

変化が大きい21世紀の社会において、児童・生徒がたくましく生き抜くことができるよう、健康づくりと体力の向上を図るとともに、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、自ら学ぶ意欲や態度、思考力、判断力、表現力等の「確かな学力」を育成することが大変重要です。

そのためには、学力調査などにより、児童・生徒の学力の状況を的確に把握し、状況に応じた指導法の工夫・改善をしたり、個別指導を充実することが必要です。

## ？ どのようなことを行なっていますか？

主に、以下のことを行なっています。

### ●台東区総合学力調査

平成20年度から実施し、台東区の児童・生徒の学力の状況を把握するとともに、結果を詳細に分析し、学校における学習指導を中心として、様々な教育活動の改善に役立てています。

#### 【調査教科等】

- ◆小学校4・5年生・・・国語、算数、アンケート
- ◆中学校1年生・・・国語、社会、数学、理科、アンケート
- ◆中学校2年生・・・国語、社会、数学、理科、英語、アンケート

#### 【保護者アンケート】

- ◆小学校第4・5学年、中学校第1・2学年、幼稚園年長組

### ●学力向上推進ティーチャー

区が独自に採用した講師をすべての区立小・中学校に配置しています。担任とともに学習指導にあたるチームティーチングや、少人数指導の指導者として、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を展開することにより、児童・生徒に基礎的・基本的な知識・技能を着実に身に付けさせるほか、各学校の状況に応じて、放課後の学習教室の指導も行ないます。

また、小学校の学級を対象として、安定した学習環境づくりを支援するため、学級サポーター制度（18 解説①）を導入しています。

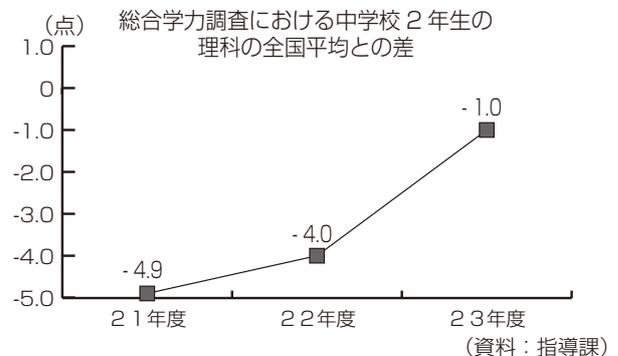
### ●学力向上プラン「大学生が先生」

児童・生徒の学習意欲を高め主体的に学ぶ習慣を身に付けるため、すべての公立小・中学校に将来教員になることを希望する大学生を派遣し、学習支援を行なっています。

## ？ 事業の進み具合はどうか？

総合学力調査の結果は、年々全国平均を上回る教科が増えてきています。

また、全国平均を下回っている中学校2年生の理科についても、全国平均との差は年々小さくなってきています。



## ？ 今後はどのように取り組んでいくのですか？

学力向上推進ティーチャー・大学生が先生など、学力向上への取り組みの効果を検証し、さらに有効に活用していくとともに、電子黒板（☞解説②）等のICT（☞解説③）機器の導入などにより、一層、教育環境を充実していきます。

また、学力向上に最も重要なのは、教員の授業力向上であると捉え、区が主催する研修について職務の階層に応じた内容の改善や、各校におけるOJT（☞解説④）を推進しています。

さらには、学力向上のみならず、健康づくり・体力向上、こころざし教育（☞解説⑤）の推進、情操教育（☞解説⑥）の充実等により、総合的な人間力の向上を目指します。

### ■ この事業に関するお問合せは ■

教育委員会指導課

03-5246-1453

#### 【解説】

##### ①学級サポーター制度

課題のある学級に対して、講師を配置し、担任との連携により学級環境を整える制度です。

##### ②電子黒板

パソコンやDVDなどの映像を表示するだけでなく、タッチパネルとして子どもたちが画面上に書き込みを行ったり、既存の映像と書き込みを同時に行ったりすることができ、従来の黒板とパソコン、映像機器などが一体化したものです。

##### ③ICT

情報（Information）や通信（Communication）に関する技術（Technology）の総称です。

##### ④OJT

On-the-Job Training の略で職場での実務を通じて行なう従業員の教育訓練のことです。

##### ⑤こころざし教育

主に、先人・偉人の教えや生き方に学び、将来に向けて夢や希望をもって、主体的に生きる人間を育てようとする教育のことです。

##### ⑥情操教育

感情や情緒を育み、創造的で個性的な心の動きを豊かにするための教育、および、道徳的な意義や価値観を養うことを目的とした教育の総称です。